

2月24日、ウラジーミルプーチンは、彼が「特別軍事作戦」と呼んだもの、つまりウクライナへの大規模な侵略に対する婉曲表現でロシア軍を発足させました。2週間後、主にウクライナ軍の勇氣と粘り強さのために、ロシア軍は期待をはるかに下回りました。

戦いは数週間以上続く可能性があり、すでに失われた数千人に加えてより多くの命を奪う可能性があります。クレムリンは停戦の代償として最大主義の要求を表明し、キーウが妥協する準備ができていることをほめかけたとき、積極的に反応しなかった。重要な質問：プーチンは実際の交渉に同意するのでしょうか、それとも彼は選択した戦争を続けていくのでしょうか？

戦争の2週間

プーチンは多くの虚偽で侵略を正当化した。ウクライナ東部のドンバスの人々は「屈辱と大量虐殺に直面していた」。ネオナチがキーウで権力を掌握したため、ロシアは「ウクライナを非難する」ことを目指した。そしてウクライナは「核兵器の取得を目指すところまで」行っていた。キーウが核兵器を求めたという嘘は特に有害でした。1990年代、ウクライナはソビエト連邦から受け継いだ世界第3位の核兵器を放棄しました。これは主に、ロシアがウクライナの領土保全を尊重し、ウクライナに対して力を行使しないことを約束したためです。

ロシア軍は複数の方向からウクライナの領土に進水しました。2週間後、ロシア軍は南部で進歩を遂げ、ヘルソンを占領し、マリウポリを孤立させました。しかし、ロシア人は北部でより困難な時間を過ごしました。ウクライナ人は、キーウを素早くつかむ努力を拒絶し、チェルニーヒウとハリコフを守るために激しく戦った。

戦いは大きな人的被害をもたらしました。3月9日の時点で、国連は500人以上の民間人が殺害され（おそらく膨大な数の過小評価）、約210万人の難民が国外に逃亡したと推定しており、特にロシア軍が無差別な大砲とロケットを実施しているため、その数は日ごとに増えています。主要都市への攻撃。戦争はまたロシアを犠牲にしました。国防省は3月2日、約500人のロシア兵が戦死したと報告した。3月8日、国防総省は、「自信がない」とはいえ、戦争によって2,000人から4,000人のロシア兵の命が奪われたと推定した。

クレムリンがその軍隊の不振とウクライナ人の決意に驚いた場合、それは西洋の反応にも同様に驚いた。NATOは、バルト三国、ポーランド、ルーマニア、ブルガリアに数千人の軍隊を配備してきました。米国、欧州連合、英国、カナダ、およびスイス、シンガポール、日本、オーストラリア、ニュージーランドを含むその他の国々は、中央銀行を含むロシアに対する主要な金融およびその他の制裁措置を打ち負かしました。ルーブルは暴落し、中央銀行はインフレ率の急上昇を予想して、主要な貸出金利を2倍の20%に引き上げました。3月8日、ジョー・バイデン大統領は、米国がロシアからの石油、天然ガス、石炭の輸入を禁止すると発表した。

おそらくクレムリンに最も衝撃を与えたのはドイツの変化であり、それは1週間でロシアに対する50年の政策を一掃した。ベルリンはNordStream2ガスパイプラインを一時停止しました。ウクライナに武器を送るために紛争地帯に武器を供給しないという方針を覆した。防衛費を劇的に引き上げました。ドイツは、NATOが合意した次の予算で国内総生産の2%を防衛に充てるという目標を達成し（数年後とは対照的に）、軍事的ニーズのために1回限りの1,000億ユーロのプラスアップを追加します。これは、2倍以上になります。国は2021年に防衛に費やしました。

前進する戦争

ロシアの軍事作戦は、北のキーウから黒海のオデーサまで走る路線の東側でウクライナの大部分またはすべてを占領することを目的としているようです。ロシア陸軍はまだ国の西3分の1に入っていません。北部のロシア軍ユニットは、キーウを攻撃する準備をしているようです。

これまでのロシア軍の作戦計画は、ある知識豊富なアナリストによって「奇妙」であり、ロシアの利点を利用していないと説明されています。とは言うものの、ウクライナに約125の大隊戦術群を持つロシア軍には、質量と数があります。質量と数がこの戦争に勝つ人を決定するならば、ロシアが勝つでしょう。

それはプーチンの政治的目標の問題を提起します。ロシア人がウクライナ軍を打ち負かしてキーウを奪った場合、プーチンはおそらく親ロシア政府を設置したいと考えています。しかし、その政府を維持するには、ほぼ確実にロシアの軍隊と治安部隊による占領が必要になるでしょう。彼らは怒り、民族主義的で、多くの場合武装している人々に直面するでしょう—そしてそれは抵抗するでしょう。そのような占領は、経済的に弱体化したロシアの大きな流出を証明する可能性があります。

しかし、戦争は数以上のものです。すべての見方で、ウクライナ人は非常にやる気と決意を持っており、ウォロディミル・ゼレンスキー大統領は真の刺激的な戦時中の指導者としての地位を確立しました。今のところ、ロシアが蔓延している問題は、「いつ」ではなく「もし」のままです。ウクライナ人が頑張れば、一方の結果は膠着状態になり、戦いは続くが、どちらの側ももう一方を追い払うことはできない。軍事費がロシア側に積み重なっている場合、クレムリンは、プーチンはそれを行使したくないが、それをやめて家に帰るという選択肢を保持し、おそらく何らかの形で勝利を宣言する。

交渉された和解？

3月7日のクレムリン報道スポークスマンは、ロシアの軍事行動の停止を求める一連の要求を提示しました。ウクライナは軍事作戦を中止し、中立性に同意して憲法に盛り込み、クリミアがロシアの一部であることを認め、ドンバスのいわゆるドネツクとルハンシクの「人民共和国」。口に出さないままにされているが、ほぼ確実にリストに載っているのは、キーウの新政府であり、非軍事化の以前の要求である。

ゼレンスキー政府がこれらの要求を受け入れるのを見るのは難しい。それは停戦だけを買うかもしれない。（もしそうなら、多くのウクライナ人は戦いを続けることができたでしょう。）それでも、3月8日、ゼレンスキーは、NATO加盟をもはや要求しないかもしれないと示唆し、ドンバスに「妥協」する用意がありました。彼は最後通告を受け入れないと述べ、モスクワとの真の対話を求めた。

クレムリンはゼレンスキーのコメントに肯定的な反応を示さなかった。トルコでのウクライナのドミトロ・クレーバ外相とロシアのセルゲイ・ラブロフ外相との3月10日の会合からは何も得られなかった。モスクワがキーウとの真の交渉に関心を示した場合、米国とNATOは、ロシアを含む欧州の安全保障に真に貢献できる武器管理、リスク削減、透明性対策について交渉する提案を更新することもできます。西側はまた、ロシア軍がウクライナを去った場合、制裁の緩和があることを明らかにすることができた（ただし、西側はモスクワのフォロアアップを確実にするためにいくつかの制裁を維持するかもしれない）。

したがって、和解の取り組みは、キーウとモスクワの間の交渉、ヨーロッパの安全を強化するための措置に関する交渉、制裁緩和の議論という3つの道筋に沿って進めることができます。しかし、これらのトラックは、クレムリンのアプローチに変更がなければどこにも行きません。

プーチンは彼の目的を再考しますか？彼の現在の進路では、軍事的「勝利」は、敵対的な反ロシアウクライナの数年または数十年にわたる占領、世界のほとんどからの政治的孤立、およびロシア経済を荒廃させる経済制裁を伴うように思われる。より良い選択肢が必要だと思うでしょう。

ウクライナは戦争に「勝つ」ことができるでしょうか？およびその他の質問

ロシアは、侵略から1か月以上経った今でも、ウクライナからの激しい抵抗に直面し続けています。

ウクライナ軍はロシアから一部の地域を奪還する試みを開始し、今週はキーウと北部の都市チェルニーヒウ周辺での作戦を縮小すると述べた。

その間、400万人がウクライナから逃げ出し、国の人口の4分の1が避難していると考えられています。

地上にいるBBCの2人の記者があなたの質問に答えます。

オルラ・ゲリンはウクライナの首都キーウにあります

ジェニーヒルはロシアの首都モスクワにあります

ウクライナが最近行った反撃に照らして、そしてウクライナとロシアの間の外交交渉が失敗したと仮定すると、ウクライナはこの戦争に軍事的に「勝つ」ことができるかもしれないか？-ハリートンズリー

軍事用語では、これまでのところ、ウクライナにとって非常に良いケースです。

それは、より大きく、より設備の整った軍隊に対して熟練した頑固な抵抗をすることによって、プーチン大統領と世界を驚かせました。同様に、ロシア軍は無秩序で無能であることによって世界を驚かせました。

先週、キーウ郊外の最前線でウクライナが戦闘に成功した例を見ました。ウクライナ軍は、ロシア人が過去1か月間に4回突破を試み、そのたびに抑制されたと語った。証拠は、約5ダースの燃え尽きたロシアの戦車と装甲兵員輸送車の形でそこにありました。

ロシアの侵略は現在6週目であり、重要な面で失敗しました。ロシア人は首都キーウに侵入したり、政府を倒したり、南部の主要都市であるヘルソンを占領したりすることができませんでした。ロシアはそれが捕らえた以上に破壊しました。それは、費用のかかる侵略に対する見返りとしては不十分です。

とはいえ、ここで結果を予測するには時期尚早です。

私たちは長い戦争の始まりかもしれませんが、ロシアは、ウクライナ東部のドンバス地域に焦点を当てると述べています。他の場所で利益を上げることができなかったため、それはほとんど選択の余地がないかもしれません。しかし、将来的には、他の場所でより多くの領土を占領しようとするのを再開する可能性があります。

ロシアが中東から採用しているので、これは自国の軍隊の質に対する自信の欠如を示していますか？-デビッドカーター

ジェニーヒルは書いています：

クレムリンは決してそれを認めませんが、少なくとも一部のロシア軍は経験が浅く、任務の準備ができていないという証拠があります。国防省は最近、プーチン氏の主張に反して、ウクライナで戦うために徴兵制が送られたことを認めざるを得なかった。

モスクワは、16,000人の中東の「ボランティア」がいると主張しており、その多くは過去10年間にイスラームと戦い、ロシア軍に加わる準備ができています。彼らはロシア人よりも経験が豊富で、一部の専門家は、都市や町を占領するために必要な市街戦の種類におそらく熟練していると述べています。

ウクライナの民間人を攻撃したり殺したりすることには消極的ではなく（多くのロシア人はウクライナと密接な関係があり、そこにいる人々を「兄弟」と見なしている）、心理的影響を与える可能性のある残虐行為についての評判があると主張する人もいます。ウクライナ軍に。

クレムリンはおそらくこれをすべて知っているので、中東の戦闘機へのアクセスを公表することに非常に熱心でした-それが実際に彼らを送り込むことをまだ公式に確認していませんが。

戦後、ウクライナにとって不発弾はどの程度問題となるのでしょうか。その結果、広大な土地にアクセスできないと見なされる可能性はありますか？-ロビー

オルラ・ゲリンはこう書いています：

悲しいことに、紛争が頻繁に発生するように、銃が最終的に沈黙した後も、人命への危険は長く続くでしょう。

危険は不発弾だけでなく地雷からも起こります。地雷除去組織が最前線の領域をクリアできない限り、彼らは今後何年にもわたって殺害する可能性があります。私はこれらの組織が他の戦争の後で働いているのを見ました。彼らの仕事は骨の折れるものであり、時間がかかります。

侵略が始まる前に、ロシアの支援を受けた分離主義者とウクライナ政府の間で、国の東部ですでに激しい戦争があった。それは2014年に始まり、それ以来ずっと続いています。

1月下旬と2月に最前線から報告している間、私たちは多くの地雷原を注意深くスカートで覆わなければなりません。その時、雪は溶けていました-土を泥に変えました。このような状況では、地雷は元の場所（地図にマークされているか、フェンスで囲まれている可能性があります）から簡単に移動できます。

現在、キエフの北にあるベッドタウンのイルピンでは、ウクライナ軍は、通りに地雷があるため、生命への危険性が高いと述べています。

ロシアの人々がプーチン氏を転覆させたり、より大きな市民不安を引き起こしたりする可能性は、紛争が長引くほど長くなるのでしょうか。-ダミアンフィールドハウス、サマセット

ジェニーヒルは書いています：

可能性が低い。

クレムリンは、戦争に反対する人々と、そのように考えている多くのロシア人が逃げてきたと激しく思い切った。ほぼ毎日の街頭抗議は減少しました。

州の世論調査は皮肉を込めて見なければならぬが、プーチン氏と彼の「特別軍事作戦」に対する大多数の（そして成長している）支持を一貫して示している。

ほとんどの独立したロシアのメディアがブロックされているか、閉鎖を余儀なくされていることを考えると、クレムリンの物語に固執する国営メディアに代わるものはほとんどありません。それは、ロシア軍がウクライナに行ったのは、ロシア語を話す人々を、ウクライナの民族主義者やネオナチによる攻撃や「大量虐殺」から守るためだけだったということです。

国営テレビだけを見たなら、これはロシアの話者とロシア自身を、アメリカの助けを借りて生物兵器を開発し、その手に入れようと必死になっている攻撃的なウクライナから救うための名誉で必要な作戦であると結論付けるかもしれません。核兵器について。

制裁は価格の上昇とともに顕著な影響を及ぼし始めていますが、クレムリンはこれを西洋の侵略の別の例として捉えています。この段階では、国民の不満が革命に発展するのを見るのは難しいです。

ウクライナのインフラストラクチャに与えられた損害を再建するために誰が支払うつもりですか？人件費を気にしないでください？-スティーブサンダーコット、ラグビー

オルラ・ゲリンはこう書いています：

最大のコストは人間のコストであり、それは日ごとに増加しています。国連によると、確認された民間人の死亡者数は約1,200人ですが、実際の数をはるかに多くなります。これに加えて、400万人のウクライナ人が他の国で逃げて難民にならなければならなかったという事実。

この広大な国の都市や町では、大規模な物理的破壊もあります。侵略までのカウントダウンに10日間を費やした南部のマリウポリほど苦しんだ場所はありません。

その時点で、それはトレンドイナカフェ、忙しいレストラン、そして家族が公園を散歩しているにぎやかな港町でした。マリウポリの衛星画像は現在、ほとんどが焦土作戦であり、住宅の90%が損傷または破壊されています。

ウクライナの当局者によると、この都市だけで5,000人もの人々が殺されたことが知られています。彼らは実際の死者数はその2倍になる可能性があると言っています。

ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領は、「すべての家、すべての街路、すべての都市」を復元することを約束しました。彼は、ロシアは「賠償」という言葉を学び、全額を支払う必要があると述べています。

ウクライナは確かに、戦争を終わらせるために行われるあらゆる取引の重要な部分が賠償であることを望んでいます。ロシアが支払うかどうか、そしてその金額は、その取引が行われるときに誰が優位に立つかによって異なります。理論的には、G7諸国によって凍結された海外のロシアの資産は、法案の立案に役立てることができます。

和平協定が成立した場合、ウクライナ/ロシアはクリミア、先月ドンバスでロシアが占領した地域、そして過去数年間ロシアが支援する反政府勢力によって支配されてきた地域にどのように対処するでしょうか。-ライアン・マクゴリー

ジェニーヒルは書いています：

プーチン氏は、2014年にロシアが併合したクリミアをロシア人として世界に認めてほしいと望んでいることを私たちは知っています。今週初めの交渉で、ウクライナ側は、プーチン氏がそれに同意するのを見るのは難しいが、クリミアの地位は全体的な和平協定の一部として15年以上交渉されることを提案した。

彼はまた、国際社会が（彼がそうであるように）ドネツクとルハンシクの自称民族共和国を独立したものとして認めることを望んでいる（これは基本的に「ロシア支配」を意味するだろうが）。

クレムリンの現在の計画は、ドンバス地域全体を「解放」するためにウクライナ東部での取り組みを強化することであるとすれば、プーチン氏はこの地域を引き継ぐことを試みるつもりであると推測できます。

私たちは、ウクライナ軍が特定の分野で非常に効果的であることを見てきました。軍隊が彼らの都市を砲撃し

ているロシアの大砲を破壊するのを妨げるものは何ですか？-ポール・アックリル

オルラ・ゲリンはこう書いています：

独立した軍事専門家は、1つの考えられる要因を指摘しています。彼らは、ロシアが追跡された車両から砲兵を発射していると言います。それは、発射するとすぐに場所を移動することができます。それは彼らを標的にするのを難しくします。

ウクライナ軍は、ロシアが発砲している市街地に民間人がいるため、彼らも拘束されていると語った。彼らはロシアの大砲を標的にしている間、彼ら自身の人々を殺す危険を冒したくありません。これはキエフ郊外のブチャのような町で問題となっており、ロシア軍の存在にもかかわらず一部の民間人が残っていた。

キーウ周辺では、ウクライナ軍がロシア軍を押し戻すことに成功し、彼らが砲兵を使用する範囲を制限してきました。市内中心部が手の届かないところにあるため、プーチン氏の部下はマリウポリを持っているためキーウを砲撃することができず、空爆に訴えました。

ただし、ウクライナの防空はうまく機能しています。ここキーウで何度か、ロシアのミサイルが撃墜されたときの大規模な強打を聞いたことがあります。

一般的に、ウクライナは、ロシアの脅威を抑えるために、より多くのより良い防空システムを求めてきました。そして、ここでの絶え間ない要求は、NATOが飛行禁止区域を課すことです。私たちは、NATOに「空を閉じる」ことを懇願したイルピンの砲撃から逃げる民間人に会いました。しかし、より広い戦争に巻き込まれることへの西側の恐れのために、ここでその可能性があるかと信じている人はほとんどいません。

プーチン氏はロシアのメディアに大きな制限を課しましたが、ウクライナによって報告されたニュース（たとえば、軍隊や民間人の死亡数）が完全に正確ではない可能性がありますか？-サラ、オックスフォード

オルラ・ゲリンはこう書いています：

双方は情報戦争と戦場での戦争を戦っています。

いかなる紛争においても、民間人の死、領土の占領、敵の兵士の殺害など、戦争をしている当事者からの情報は注意して取らなければなりません。

これは、ロシアの人々がクレムリンのバージョンのイベントのみを確実に受け取れるようにしようとしているロシアに関連して、現在特に当てはまります。それはまだそれがウクライナを侵略したことを認めることを拒否し、その「特別軍事作戦」のみに言及している。

私たちは直接の報告を優先します。そのため、BBCはウクライナの非常に多くの地域にチームを持っており、民間人、医療スタッフ、地方公務員、ウクライナ軍など、現場の人々から証言を集めています。

ウクライナは損失を被ったことを認めており、さまざまな都市のBBCチームは、戦闘で殺されたウクライナの兵士の葬式について報告することができました。損失の全額が公表されているかどうかはまだわかりません。

反戦ロシア人はいますか？彼らは安全ですか？-ロアンナ、ブライトン

ジェニーヒルは書いています：

はい、ありますが、そのような異議が実際にどれほど広まっているのかを評価することは困難です。

戦争に反対して発言すること、あるいはプーチン氏が主張し続けていることについて真実を語ることは「特別軍事作戦」にすぎないことでさえ、刑事上の有罪判決とおそらくは懲役刑につながる可能性があります。

侵略の最初の3週間、ほぼ毎日の街頭抗議に参加したために15,000人以上が拘留されたと報告されています。

ほとんどの独立したジャーナリスト、そして侵略に反対する多くのロシア人は、トルコ、アルメニア、ジョージアのような場所のために国を逃げてきました。クレムリンは彼らを裏切り者と呼んでおり、滞在した人々の一部は虐待や攻撃の標的になっています。

私たちは最前線のウクライナ兵の視点を見ていますが、ロシア側からの視点を得ることができますか？あなたはロシア人がウクライナの地上にいるロシア軍について報告したり話したりすることを妨げられていますか？-ビショップスストートフォード、ロバート

ジェニーヒルは書いています：

現在ウクライナにいる同僚には答えられませんが、クレムリンはロシアへの情報の流れを厳しく管理しています。

国防省は、「特別軍事作戦」の成功を一貫して強調する更新を頻繁に発行しています。ロシアの兵士はスマートフォンの使用を禁止されており、モスクワはロシア軍の信用を傷つける情報を公開したり、クレムリンがそれについての偽のニュースと見なすものを広めたりすることを犯罪としています。

軍人の家族が彼らについての情報を得るのを助けることを目的とする独立した組織が存在します。しかし、彼らは最近、当局から活動を停止するようかなりの圧力を受けていると私たちに話しました。

ウクライナの旗を掲げている人が、木曜日にパリでウクライナを支援するデモに参加します。ロシアがウクライナへの攻撃を開始してから3週間が経ちました。

ゲッティイメージズ経由のジュリアンデローザ/AFP

ウクライナの侵略が3週間前に始まったとき、多くの人々はロシアの軍事力のためにそれがすぐに終わるだろうと思っていました。しかし、戦争が長引き、ウクライナが掘り下げていくにつれて、2つの質問がますます求められています。ウクライナはこの戦争に勝つことができるのか、そしてそれは何をするのか？

ロシアがヘルソンの南部の都市を占領している間、ウクライナの軍隊と民間人はロシア軍が他の主要都市を支配することを妨げてきました。ニューヨークタイムズ紙によると、ロシアも重大な死傷者を出し、控えめな見積もりでは7,000人以上の軍隊が死亡した。

ロシアの戦場での成功の欠如の理由は、侵略が始まる前に始まり、腐敗や不十分な訓練、悪い仮定などの体系的な問題に起因する可能性があるとして、欧州政策分析センター（CEPA）の上級研究員であるスティーブンホレルは述べた。

元米国海軍諜報員でもあるホレルは、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領がウクライナへの攻撃が大きく異なる方法で展開しているのを見たと考えています。

「プーチンは、ウクライナの人々が彼らを歓迎することについて彼が言ったことを本当に信じていたと思う」とホレルはNPRに語った。「彼らは、2022年のウクライナ軍が、クリミアを併合してウクライナ東部で冒険を

始めた2014年のウクライナ軍とは大きく異なることを理解できませんでした。」

ロシアによるこれらの以前の侵入は、ウクライナ人に火事による訓練を提供し、彼らが不足を迅速に特定して適応することを可能にした、とホレルは言い、ロシアも今回は兵站問題に苦しんでいると付け加えた。

ウクライナでのロシアの戦争は、私たちの時代の最も重要な政治的出来事の1つであり、最も混乱を招くものの1つであることが証明されています。

当初から、ロシアの侵略の決定は理解するのが困難でした。それは、ほとんどの専門家がロシアの戦略的利益と見なしたものと対立しているように見えた。戦争が進むにつれ、ウクライナの戦闘機が非常に優れた部隊からの攻撃を繰り返し回避してきたため、広く予測されていたロシアの勝利は現れませんでした。ワシントンからベルリン、北京に至るまで、世界中で、世界の大国は印象的で歴史的に前例のない方法でさえ反応してきました。

以下は、これらすべてを理解するための試みです。戦争について誰もが尋ねている最大の質問に取り組むことです。これは、ウクライナで何が起きているのか、そしてなぜそれが重要なのかを理解するための包括的なガイドです。

1) なぜロシアはウクライナを侵略したのですか？

2月24日にウクライナで行われたロシアの「特別軍事作戦」を発表したテレビ演説で、ロシアのウラジーミルプーチン大統領は、侵略は「キーウ政権」による「虐殺」を阻止し、最終的には「非軍事化と非軍事化」を達成するために設計されたと述べた。ウクライナの非ナチ化。」

キーウでのジェノサイドとナチスの支配の主張は明らかに誤りでしたが、レトリックはプーチンの最大の戦争の目的を明らかにしました：レジームチェンジ（「非ナチ化」）とロシアの支配外の主権国家としてのウクライナの地位の排除（「非軍事化」）。彼がこれをやりたいと思う理由は、より複雑な話であり、ロシアとウクライナの関係の非常に長い弧から浮かび上がってきます。

ウクライナとロシアは、重要で、深く、そして長年にわたる文化的および歴史的なつながりを持っています。どちらも、その政治的起源は、9世紀のスラブ王国のキエフ大公国にまでさかのぼります。しかし、プーチンが彼の公のレトリックで繰り返し主張しているように、これらの結びつきはそれらを歴史的に同一にするものではありません。19世紀半ばから後半にかけての近代ウクライナ国民運動の台頭以来、ウクライナにおけるロシアの統治は、皇帝時代とソビエト時代の両方で、不本意な植民地を統治する帝国の権力にますます似るようになりました。

ロシア帝国の統治は1991年に終了し、ウクライナ人の92%が国民投票で腐敗したソビエト連邦からの脱退に投票しました。ほぼ直後に、政治学者と地域の専門家は、ロシアとウクライナの国境が引火点になると警告し始め、ウクライナ西部のより親ヨーロッパの人口とクリミア半島のような比較的より親ロシアの東の争われた領土の間の内部の分裂を予測しました、そしてその邪悪な血管に対する支配を再確立したいというロシアの願望はすべて、新しい隣人との対立につながる可能性があります。

これらの予測が正しいことが証明されるまでに約20年かかりました。2013年後半、ウクライナ人は現職のヴィクトルヤヌコビッチ大統領の権威的で親ロシア的な傾向に抗議するために街頭に出て、2014年2月22日に辞任を余儀なくされました。、それにもかかわらず、クリミアの大多数が歓迎しているように思われた、勇敢に違法な動き。ロシア語を話すウクライナ東部での親ロシアの抗議は、クレムリンに興奮して武装し、偽装したロシア軍に後押しされた激しい反乱に道を譲った。

ヤヌコビッチに対するウクライナの反乱は、キーウのマイダン広場で最も顕著に起こったEU支持派の抗議であったため、「ユーロマイダン」運動と呼ばれ、ウクライナに対する影響力だけでなく、プーチン政権の存続そのものに対する脅威をロシアに示しました。プーチンの考えでは、ユーロマイダンはクレムリンの同盟国を打倒するための西側支援の計画であり、NATOのポスト冷戦後の東への拡大を含むロシア自体を弱体化させるより広範な計画の一部でした。

「私たちは何が起きているのかを理解しています。私たちは、[抗議]がウクライナとロシア、そしてユーラシアの統合に反対することを目的としていたことを理解しています」と彼はクリミアの併合に関する2014年3月の演説で述べました。「ウクライナとともに、私たちの西側のパートナーは一線を越えました。」

ロシアの専門家によると、このレトリックの下には、彼の政権が同様の抗議運動の餌食になるかもしれないという、より深い、明言されていない恐怖があります。ウクライナは、ロシア人がエミュレートするための親欧米モデルを作成する可能性があるため、彼の見解では成功できませんでした。これは、米国が最終的にモスクワに密かに輸出しようとする可能性があります。これは2014年の彼の考え方の中心であり、今日でもそうです。

「彼は、すべての反ロシア政治運動の背後にあるCIAエージェントを見ています」とトロント大学でロシアを研究している政治学者のSeva Gunitskyは言います。「彼は、西側がウクライナで行ったように彼の体制を覆したいと思っていると考えています。」

2021年3月から、ロシア軍はますます多くの数でウクライナ国境に配備し始めました。プーチンのナショナリストのレトリックはより積極的になりました：2021年7月、ロシア大統領は、ウクライナのナショナリズムはフィクションであり、国は歴史的に常にロシアの一部であり、親西ウクライナはロシア国家。

「ロシアに対して攻撃的な、民族的に純粋なウクライナ国家の形成は、私たちに対する大量破壊兵器の使用とその結果に匹敵します」と彼は2021年のエッセイに述べています。

プーチンがウクライナの一部を占領するだけではもはや十分ではないと判断した理由は、専門家の中で重要な議論の的となっています。ロシアのジャーナリスト、ミハイル・ザイガーによって進められた1つの理論は、パンデミックによって引き起こされた孤立が彼を極端なイデオロギーの場所に追いやったというものです。

しかし、プーチンのウクライナへのシフトの直接の原因は明らかではありませんが、そのシフトの性質は明らかです。ロシアの偉大さを回復する緊急性に対する彼の長年の信念は、ウクライナを直接ロシアの支配下に戻したいという新帝国の願望に固執した。そして、プーチンの支配が基本的にチェックされていないロシアでは、それは本格的な戦争を意味しました。

2) 誰が戦争に勝っていますか？

紙面では、ロシアの軍隊はウクライナの軍隊を大幅に上回っています。ロシアは、ウクライナの10倍以上の防衛費を毎年費やしています。ロシア軍はウクライナの3倍弱の大砲と、約10倍の固定翼航空機を持っています。その結果、一般的な侵略前の見解は、ロシアは通常戦争に容易に勝つだろうというものでした。2月初旬、統合参謀本部議長のマーク・ミリーは国会議員に、首都のキーウはロシアの侵略から72時間以内に倒れる可能性があると言った。

しかし、それは物事がうまくいった方法ではありません。侵略の1か月後、ウクライナ人はまだキーウを保持しています。ロシアは、特に東と南でいくらかの利益を上げましたが、軍事専門家間のコンセンサスの見解は、ウクライナの防衛がしっかりと保持されているということです—ウクライナ人が反撃を開始することがで

きたところまで。

伝えられるところによると、最初のロシアの計画は、キーウでの迅速な行進がトークンの抵抗にしか会わないという仮定の下で機能した。プーチン大統領は、「実際には、これは「特別軍事作戦」になると考えていた。数日で行われ、実際の戦争にはならないだろう」と、CNAシンクタンクのロシア軍の専門家であるマイケルコフマンは言う。。

この計画は、ホストメル空港での空中攻撃のような初期の作戦が災害で終わった戦争の最初の48時間以内に崩壊し、ロシアの将軍はその場で新しい戦略を開発することを余儀なくされました。彼らが思いついたのは、大規模な砲撃とウクライナの主要都市を取り囲み包囲する試みであり、より効果的でした（そしてより残忍でした）。ロシア人はウクライナの領土、特に南部に侵入し、マリウポリを包囲し、ヘルソンとメリトポリを占領しました。

しかし、これらのロシアの進歩は少し誤解を招くものです。コフマン氏は、ウクライナは「時間と空間のトレードオフ」を戦術的に決定したと説明します。ウクライナの土地の隅々まで戦うのではなく、戦略的に撤退し、領土内でロシア人が選択したときに対峙します。

戦いが続くにつれて、ウクライナの選択の性質が明らかになりました。ウクライナ人は、ロシアの数値的優位性が決定的であることが証明されるオープンテレーンでロシア人との大規模な戦闘に参加する代わりに、一連の小規模な衝突に従事することを決定しました。

ウクライナ軍は、町や小都市でロシア軍の部隊を停滞させました。通りから通りへの戦闘は、都市の地理に関する優れた知識を使用して待ち伏せを隠したり実行したりできる防御側に有利に働きます。彼らは、公道を走行する孤立した露出したロシア軍ユニットを攻撃しました。彼らは保護が不十分な供給ラインを繰り返し襲撃してきました。

このアプローチは非常に効果的であることが証明されています。3月中旬までに、西側の諜報機関とオープンソースのアナリストは、ウクライナ人がロシアの侵略を阻止することに成功したと結論付けました。ロシア軍は、3月下旬のブリーフィングでこの現実をほとんど公然と認識しました。このブリーフィングでは、トップ将軍は、キーウを奪取するつもりはないと信じられないほど主張し、常に東部で領土を獲得することに焦点を当てていました。

「ウクライナを侵略して征服する最初のロシアのキャンペーンは、その目的を達成することなく最高潮に達している。言い換えれば、それは打ち負かされている」と軍事学者のフレデリック・ケイガンは3月22日の戦争研究所（ISW）シンクタンクの概要で書いた。。

現在、ウクライナ軍は攻撃的です。彼らはロシア人をキーウから遠ざけ、イルピンの郊外を奪還し、ロシアにその軍隊の一部を暗黙の敗北を認めて撤退させたと示唆する報告もある。南部では、ウクライナ軍がヘルソンに対するロシアの支配を争っている。

そして、戦闘中、ロシアの死傷者は恐ろしく多かった。

戦争地帯で正確な情報を得るのは難しいですが、ロシアの戦没者のより信頼できる推定の1つは、米国国防総省から、戦闘の最初の3週間で7,000人以上のロシア人兵士が殺されたと結論付けています。アフガニスタンでの20年間の戦闘で死亡した米国軍人の総数の2倍。別のNATOの推定では、ローエンドでは、7,000人から15,000人のロシア人が戦死し、合計で40,000人ももの損失（負傷、捕獲、脱走を含む）が見込まれています。戦闘で7人のロシアの将軍が殺害されたと報告されており、装甲から航空機に至るまでの物資の損失は甚大で

す。（ロシア死者数は1,300人以上であり、これはほぼ間違いなくかなりの過小評価です。）

これはすべて、ロシアの勝利が不可能であることを意味するものではありません。ロシアの援軍から包囲されたマリウポリの崩壊に至るまで、多くのことが戦争努力に新たな命を吹き込む可能性があります。

しかし、それはロシアが現在行っていることがうまくいかなかったことを意味します。

「大混乱をもたらすことがポイントであるなら、彼らはうまくやっています。しかし、大混乱を引き起こし、さらに前進すること、つまりより多くの領土を保持できるようにすることがポイントである場合、彼らはうまくいっていません」と国際危機グループのヨーロッパおよび中央アジアのプログラムディレクターであるオルガオライカーは述べています。

3) なぜロシアの軍隊はそれほど業績が悪いのですか？

ロシアの侵略は2つの基本的な理由で失敗しました：その軍隊はこのような戦争と戦う準備ができていませんでした、そしてウクライナ人は誰もが予想したよりはるかに強力な防御をしました。

ロシアの問題は、プーチンの非現実的な侵略計画から始まります。しかし、ロシアの最高司令部がその戦略を調整した後でも、軍の他の欠陥が残っていました。

「国が軍事的に崩壊しているのを見ています」とケンタッキー大学で空軍力を研究している教授であるロバート・ファーリーは言います。

最大かつ最も顕著な問題の1つは、厄介なロジスティクスです。戦争の最も有名な画像のいくつかは、ウクライナの道路に駐車されたロシアの装甲車両であり、一見ガスがなく、前進することができません。ロシア軍は装備が不十分で供給が不十分であることが証明されており、不十分な通信から不十分なタイヤに至るまでの問題に直面しています。

その理由の一部は、十分な準備が不足していることです。コフマンによれば、ロシア軍は単に「この種の戦争のために組織されたのではない」、つまり、地域でヨーロッパで2番目に大きい国を征服したということです。そのもう一つの部分は、ロシアの調達システムの腐敗です。ロシアのグラフトは、機能よりも政治システムのバグではありません。クレムリンがエリートの忠誠心を維持する1つの方法は、彼らが政府の活動から利益を得ることができるようにすることです。軍事調達も、この広範な腐敗のパターンの例外ではなく、軍隊が重要な物資に標準以下のアクセスを持っていることにつながっています。

同じ準備不足がロシアの空軍を悩ませてきた。ウクライナ空軍の数を約10倍上回っていますが、ロシア人は制空戦闘機の優位性を確立できていません。ウクライナの飛行機はまだ飛行中であり、その防空はほとんど維持されています。

おそらく最も重要なことは、戦争の密接な観察者は、ロシア人が士気の低下に苦しんでいると信じていることです。ウクライナを侵略するプーチンの計画はロシア人の大多数から秘密にされていたので、政府は彼らの兵士が戦うように動機づけられるプロパガンダの基礎を築く能力が限られていました。現在のロシア軍は、彼らが何のために戦っているのか、あるいはその理由についてほとんど理解しておらず、彼らが宗教的、民族的、歴史的、そして潜在的には家族的なつながりを持っている国と戦争をしている。長い間体系的な士気の問題を抱えてきた軍隊では、それは戦場での災害のレシピです。

「戦争が勃発する前は、ロシアの士気は信じられないほど低かった。徴兵兵、民族の分裂、汚職による軍隊の残忍な2級（またはそれ以上）の地位、あなたはそれを名付けます：ロシア軍はこの戦争と戦う準備ができて

いませんでした」と道徳を研究するダートマスの政治学者、ジェイソン・ライアル、メールで説明します。「放棄または捕獲された装備の割合が高いこと、妨害された装備の報告、および多数の兵士が脱走する（または単に森にキャンプアウトする）ことは、すべて士気の低さの産物です。」

ウクライナ人との対比は、はっきりとしたものではありませんでした。彼らは、キーウで個人的な立場をとったカリスマ的な指導者が率いる、挑発されていない侵略から家と家族を守っています。ウクライナの高い士気は、高度な西側の兵器に加えて、防御側が劇的に期待を上回った主な理由です。

「私のプロとしてのキャリアの大部分をウクライナ人と一緒に過ごしたので、私も含めて誰も、彼らの軍事力をそれほど高く評価していませんでした」とOliker氏は言います。

繰り返しになりますが、これは戦争中ずっと当てはまるとは限りません。士気は戦場の発展とともに変化する可能性があります。そして、ロシアの士気が低いままであっても、彼らが勝つことは可能です—彼らは残酷に醜い方法でそうする可能性が高いですが。

4) 戦争は普通のウクライナ人にとって何を意味しましたか？

戦いが長引くにつれて、ロシアは、設計上、民間人を傷つける戦術に引き寄せられてきました。最も注目すべきは、ロシアがウクライナの都市を包囲し、砲撃を行いながら供給ルートと脱出ルートを遮断しようとしたことです。この戦略の目的は、民間人に大規模な苦痛を与えることを含め、ウクライナの擁護者の戦う意欲を損なうことです。

その結果は悪夢のようなものでした。ウクライナ難民の驚くべき流出と、立ち去ろうとしない、または立ち去ることができなかった多くの人々にとっての甚大な苦しみです。

国連難民高等弁務官によると、2月24日から3月27日までの間に380万人以上のウクライナ人が国外に逃亡しました。これは、ウクライナの総人口の約8.8%です。米国から逃げる。

もう1つの比較ポイント：シリア内戦から4年が経過し、世界的な難民危機が深刻化した2015年には、近隣諸国に400万人強のシリア難民が住んでいました。ウクライナ戦争はわずか1か月で同様の規模の脱出を引き起こし、ヨーロッパの隣国への真に大規模な難民の流入をもたらしました。ウクライナ難民の主要な目的地であるポーランドは、現在、230万人以上のウクライナ人を収容しています。これは、首都であり最大の都市であるワルシャワの全人口よりも多い数字です。

逃げることはできなかった民間人にとって、状況は悲惨です。死亡総数の信頼できる推定値はありません。3月27日の国連の見積もりでは、この数字は1,119とされていますが、「激しい敵対行為が行われている一部の場所からの情報の受信が遅れており、多くの報告がまだ確証を待っているため、実際の数字はかなり高くなっています」と警告しています。

国連の評価は、これらの死について一方または他方を非難していませんが、「記録された民間人の死傷者のほとんどは、重砲や多連装ロケットからの砲撃を含む、広い衝撃領域を持つ爆発性の武器の使用によって引き起こされました。システム、ミサイルと空爆。」人口密集地域でこれらの種類の武器を使用しているのは、主にロシア人です。ヒューマン・ライツ・ウォッチは、この種の攻撃でロシアの兵士が「戦争犯罪の初期の兆候」を犯していると発表し、ジョー・バイデン大統領はプーチンを個人的に「戦争犯罪者」と名付けました。

この荒廃は、ロシアが包囲したウクライナ最大の人口密集地である南部の都市マリウポリほど目立つ場所はありません。3月下旬にガーディアンによって公開された都市の空中映像は、ロシアの砲撃によって破壊されたブロック全体を明らかにしています。

3月中旬、AP通信の3人のジャーナリスト（彼らも避難する前の市内で最後の国際記者）は、地上での生活を説明する派遣を何とか提出しました。彼らは合計2,500人の死者を報告したが、「無限の砲撃のために多くの死体を数えることができない」と警告した。状況は信じられないほど悲惨です：

空爆と砲弾が産科病院、消防署、家、教会、学校の外の畑を襲った。残っていると推定される数十万人にとって、行くところはまったくありません。周辺の道路は採掘され、港は封鎖されています。食糧が不足し、ロシア人はそれを持ち込む人道的な試みを止めました。電気はほとんどなくなっており、水はまばらで、住民は雪を溶かして飲んでいますが、何人かの親は、おそらく彼らにまともな電気と水で一箇所で生活の機会を与えることを望んで、彼らの新生児を病院に残しました。

ロシア軍の戦場での失敗は、困難なブロック間の戦闘におけるその能力についての疑問を提起しました。ケンタッキー州のファーリー教授は、「このロシア軍は、深刻な[市街戦]を行うことができるようには見えない」と述べています。その結果、ウクライナの都市を占領するということは、彼らを包囲することを意味します。彼らを飢えさせ、戦う意志を破壊し、人口が抵抗することを望まないか、完全に戦うことができなくなった後にのみ、適切な都市に移動します。

5) ロシア人は戦争についてどう思いますか？

ウラジーミルプーチン政権は、ウクライナ紛争中にすでに抑圧的な政策を強化し、独立系メディアを閉鎖し、Twitter、Facebook、Instagramへのアクセスをブロックしました。戦争を批判することは刑務所での長期の刑務所につながる可能性があるため、今では普通のロシア人または国のエリートが戦争についてどう思っているかを理解することは非常に困難です。

しかし、この不透明さにもかかわらず、ロシアの専門家ウォッチャーはそこで何が起きているのかについて幅広い考えを発展させてきました。戦争はいくつかの反対と反プーチン感情をかき立てました、しかしそれはプーチンの心を変える可能性が低い少数派に限定されました、ましてや彼を倒します。

ロシア国民の大部分は、ロシア軍の大部分よりも戦争の準備ができていませんでした。実際、おそらくそれほどではありませんでした。プーチンがウクライナでの「特別軍事作戦」の開始を全国テレビで発表した後、ビリオネアからアスリート、ソーシャルメディアの影響力者に至るまで、著名なロシア人から驚くほど多くの批判がありました。あるロシアのジャーナリスト、マリナ・オフシャンニコワは、反戦の看板を掲げている間、政府の放送の背景に勇敢に出くわしました。

「オリガルヒ、他の選出された役人、および社会の他の強力な人々が戦争に反対して公に発言するのを見るのは前例のないことです」と米国海軍兵学校のロシアの異議の学者であるアレクシス・ラーナーは言います。

ロシアの数十の都市でも反戦集会がありました。これらの集会に何人が参加したかはわかりませんが、人権団体OVD-Infoは、戦争が始まって以来、15,000人以上のロシア人が事件で逮捕されたと推定しています。

エリートおよび大衆レベルでのこれらの反戦感情の噴火は、プーチン政権に対するクーデターまたは革命の到来を示唆しているのでしょうか？ 専門家は、これらのイベントが発生する可能性は非常に低いと警告しています。

プーチンは、政治学者が「クーデター防止」と呼ぶものに従事する効果的な仕事をしました。彼は、防諜将校を軍隊に植え付けることから、信頼できる同盟国が率いるさまざまなグループに国家治安部隊を分割することまで、彼の政府の誰も彼に首尾よく反対することを非常に困難にする障壁を設けました。

「プーチンは長い間この事態に備えており、彼が無防備でないことを確認するために多くの協調行動をとってきました」と、ロシアと前者のクーデターの歴史を研究しているミシガン大学の博士研究員であるアダム・ケイシーは言います。共産圏。

同様に、反戦抗議を本格的な影響力のある運動に変えることは非常に難しい命令です。

「ロシアで持続的な集団抗議を組織することは難しい」と、抗議運動を研究しているハーバード大学の政治学者、エリカ・チェノウェスは指摘する。「プーチン政権は、さまざまな形の抗議を犯罪とし、西側に反対している、または関連していると見なされるグループ、運動、メディアの活動を停止または制限している。」

そのすべてを支えているのは、情報環境に対する政府の厳格な管理です。ほとんどのロシア人は、戦争前のコンテンツの着実な食事を提供している政府が運営するメディアからニュースを入手しています。彼らの多くは彼らが聞いたことを心から信じているようです。ある独立した世論調査では、ロシア人の58パーセントが少なくともある程度戦争を支持していることがわかりました。

戦前、プーチンはロシアでも真に人気のある人物であるように見えました。エリートは彼らの地位と財産を彼に依存しています。多くの市民は彼を、共産主義直後の混乱からロシアを救った男だと見ています。悲惨な戦争はそれを変えることになるかもしれませんが、彼の支持の持続的な低下でさえクーデターや革命につながる可能性は確かに低いままです。

6) 紛争における米国の役割は何ですか？

戦争は今のところ、ウクライナとロシアの間の紛争のままです。しかし、米国は最も重要な第三者であり、ウクライナの大義を支援するために、直接的な軍事介入を除いて、多くの強力なツールを使用しています。

米国の関与の真剣な評価は、米国とそのNATO同盟国が旧共産主義国に同盟メンバーシップを開放することを決定したポスト冷戦1990年代に開始する必要があります。

これらの国々の多くは、再びロシアのブーツの下に置かれることを警戒し、同盟に参加することを要求しました。同盟は、攻撃の際にすべての関係国が加盟国を守ることを約束します。2008年、NATOは、ジョージアとウクライナ（ロシアのすぐそばにある2つの旧ソビエト共和国）が、不特定の将来の日付で「NATOのメンバーになる」ことを公式に発表しました。これは、NATO拡大を彼ら自身の安全に対する直接の脅威と見なしたロシア人を激怒させた。

NATOの拡大が、現在の紛争が考えられるようになった背景条件のいくつかを生み出し、一般的にプーチンの外交政策をより反西洋的な方向に押しやるのに役立ったことは間違いありません。一部の専門家は、それをウクライナを攻撃するという彼の決定の主要な原因の1つと見なしていますが、他の専門家は、ウクライナのNATOメンバーシップは戦前にすでに基本的にテーブルから外れており、ロシアの宣戦布告の目的は単にウクライナのNATOを阻止することをはるかに超えていると指摘しています。

「NATO拡大はロシアでは非常に人気がありませんでした。[しかし]プーチンはNATO拡大のために侵入しなかった」とウィスコンシン大学マディソン校のロシア専門家であるヨシコ・エレラは言う。

その議論のどこに当てはまるかにかかわらず、紛争中の米国の政策は非常に明確でした。前例のない一連の国際経済制裁を組織することによってプーチンに後退するよう圧力をかけながら、大量の軍事援助でウクライナ人を支援します。

軍事面では、米国とヨーロッパによって製造され提供された兵器システムは、ロシアの進歩を鈍らせる上で重

要な役割を果たしてきました。たとえば、ジャベリン対戦車ミサイルシステムは、1人または2人の歩兵が戦車を取り出すことができる、軽量のアメリカ製ランチャーです。やり投げは、ウクライナ人にロシアの鎧との戦いのチャンスを与え、その過程で人気のあるシンボルになりました。

制裁は、経済の分野でも同様に壊滅的なものであることが証明されています。

国際的な罰則は、ロシアの主要銀行をSWIFTグローバル取引システムから削除することから、米国によるロシアの石油輸入の禁止、ロシアのエリートの特定のメンバーとの取引の制限に至るまで、非常に広範囲に及んでいます。ロシアの中央銀行の資産を凍結することは、ルーブル、その通貨の価値の崩壊に対処するロシアの能力を破壊する、特に損害を与えるツールであることが証明されました。その結果、ロシア経済は今年15%縮小すると予測されています。大量失業が迫っています。

特に新しい戦闘機に対するウクライナの要求を満たすことになると、アメリカができることはもっとたくさんあります。3月、ワシントンは、ドイツの米空軍基地を經由してMiG-29航空機をウクライナに移送するというポーランドの計画を拒否し、挑発的すぎる可能性があるかと主張しました。

しかし、MiG-29事件は、それが規則であるというよりも例外です。全体として、米国はモスクワを罰し、キーウの戦争努力を支援するために積極的な措置を講じることを非常に喜んでいます。

7) 世界の他の国々はロシアの行動にどのように反応していますか？

表面的には、世界はウクライナの大義の背後でかなり団結しているように見えます。国連総会は、ロシアの侵略をなんと141-5の差で（棄権35回）非難する決議を可決した。しかし、国連の投票は、特に世界最大で最も影響力のある国々の間で、多くの意見の不一致を隠蔽しています。

最も攻撃的な反ロシアと親ウクライナの立場は、おそらく当然のことながら、ヨーロッパとより広い西部で見つけることができます。EUとNATOの加盟国は、ハンガリーとトルコを一部例外として、ウクライナの戦争努力を強力に支持し、ロシア（主要な貿易相手国）に罰則を科しました。これは冷戦以来の欧州統合の最強のショーであり、多くのオブザーバーがプーチンの侵略がすでに裏目に出た兆候と見なしているものです。

ロシアとの貿易関係が重要であり、第二次世界大戦後の平和主義の伝統を持つドイツは、おそらく最も印象的な事例です。ほぼ一夜にして、ロシアの侵略は、中央左のオラフ・ショルツ首相に再軍備を支持するよう説得し、ドイツ国民によって広く支持されているドイツの防衛予算の3倍以上に提案を導入しました。

「それは本当に革命的です」と、ベルリンを拠点とするヨーロッパ改革センターの上級研究員であるソフィア・ベッシュは、私の同僚のジェン・カービーに語った。「ショルツはスピーチの中で、ドイツの防衛政策の確実性であると私たちが考えていたものの多くを廃止し、覆しました。」

ショルツはロシアの石油とガスの輸入を完全に禁止することを拒否しましたが、Nord Stream 2ガスパイプラインを封鎖し、ドイツをロシアのエネルギーから引き離すという長期戦略に取り組んでいます。すべての兆候は、ロシアが眠っている巨人を目覚めさせていること、つまりヨーロッパ大陸の中心部に強力な軍事的および経済的敵を生み出していることを示しています。

対照的に、中国は主要な世界的大国の中で最も親ロシアである。

米国が支配する世界秩序に向けた共通のアニマスに縛られた両国は、近年ますます緊密になっている。中国のプロパガンダは、ウクライナ戦争でロシアの路線を大きく引き離しました。危機の間非常に正確であった米国の諜報機関は、ロシアが北京に軍事的および財政的支援を要請したと信じています。これはまだ提供されてい

ませんが、間もなく提供される可能性があります。

とはいえ、中国がロシア側をとった程度を誇張することは可能である。北京は国家主権への強いコミットメントを表明しており、台湾でのその立場の基盤は、島が実際には中国の領土であるということです。これは、侵略の全面的な支援をイデオロギー的に厄介にします。中国の政策専門家の間や一般の人々の間で注目に値する議論があり、一部のアナリストは、北京が紛争に対してより中立的な方針を採用することを公に主張している。

世界の他のほとんどの国は、西側と中国の間のどこかに分類されます。ヨーロッパ以外では、韓国、日本、オーストラリアなど、ほとんどが親米の州のほんの一握りが制裁体制に加わっています。アジア、中東、アフリカ、ラテンアメリカの国々の大多数は侵略を支持していませんが、ロシアを罰するためにあまり何もしません。

インドがロシアのウクライナ戦争を非難しない理由

インドはおそらくこのカテゴリーで最も興味深い国です。ごく最近、中国と激しく衝突したアジアの民主主義の台頭は、自由を擁護するアメリカのパートナーとしての地位を確立するのに十分な理由があります。しかし、インドはまた、自国の防衛のためにロシア製の武器に大きく依存しており、ロシアとの関係を利用してモスクワと北京のパートナーシップを制限することを望んでいます。インドの首相、ナレンドラ・モディが強い独裁的な傾向を持っていることも注目に値します。

これらすべての結果は、「非同盟」というインドの冷戦アプローチを彷彿とさせるバランスの取れた行動です。つまり、ロシアとアメリカのどちらかとの適切な関係を維持しようとしながら、どちらか一方の立場を支持することを拒否します。民主主義についてのイデオロギー的見解よりも、その戦略的利益に対するインドの認識は、世界のかなりの数の国の場合のように、戦争への対応を形作っているように見えます。

8) これは第三次世界大戦に変わる可能性がありますか？

この質問に対する基本的で恐ろしい答えはイエスです。ウクライナの侵略は、私たちが数十年でNATO-ロシア戦争の最大のリスクにさらしました。

やや慰めと微妙な答えは、バイデン政権が繰り返し除外している紛争への直接のNATOの関与がない限り、絶対リスクは比較的低いままであるということです。バイデンは3月下旬の演説で「この男[プーチン]は権力を維持できない」と述べたが、その後、ホワイトハウス当局者と大統領自身の両方が、米国の政策はモスクワのレジームチェンジではないと強調した。

ミドルベリー国際研究所の核兵器の専門家であるジェフリー・ルイスは、「現在、核の意味で物事は安定しています」と述べています。「NATOが関与した瞬間、戦争の範囲は広がります。」

理論的には、ウクライナに対する米国とNATOの軍事支援は、エスカレーションへの扉を開く可能性があります。たとえば、ロシアは、ウクライナ向けの武器を含むポーランドの軍事基地を攻撃する可能性があります。しかし実際には、それはありそうもない。ロシア人は、核のエスカレーションの危険を冒すNATOとのより広範な戦争を望んでいないようであり、ウクライナ行きの補給品を破壊する可能性があるとしても、国境を越えたストライキを避けてきた。

3月初旬、米国国防総省は、あらゆる種類の偶発的な紛争を回避するために、ロシアの同業者との直接の連絡線を開設しました。これがどれほどうまく機能しているかは明らかではありません—一部の報告はロシア人がアメリカの呼びかけに答えていないことを示唆しています—しかし代理軍を通じて互いに戦っているライバル

間の効果的な対話の長い歴史があります。

「国家はしばしば、秘密裏に互いに戦っているときでさえ、戦争を制限するために協力します」とダートマス教授のライオールは私に言います。「意図しないエスカレーションのリスクは常にありますが、ベトナム、アフガニスタン（1980年代）、アフガニスタン（2001年以降）、シリアなどの歴史的な例は、戦争が「範囲内で」戦うことができることを示しています。」

国とNATOが、ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領の呼びかけに耳を傾け、ウクライナの空にいわゆる「飛行禁止区域」を課すと、状況は劇的に変化します。飛行禁止区域は、一般に民間人を保護する目的で、宣言された地域を飛行する軍用機をパトロールし、必要に応じて撃墜することを約束します。ウクライナでは、それは米国とそのNATOの同盟国がウクライナの空をパトロールするためにジェット機を送り込み、保護された空域に入るロシアの飛行機を撃墜することをいとわないことを意味します。そこから、核戦争のリスクは恐ろしく高くなります。

ロシアは、従来の用語でNATOに対する劣等性を認識しています。その軍事ドクトリンは、西側同盟との戦争における核兵器の使用を長い間想定してきました。プーチン大統領は、ウクライナとの戦争を宣言する演説で、紛争への国際的介入が核の報復を引き起こすことを公然と誓った。

「外部からの干渉を検討する人へ：そうすると、歴史上直面したどの結果よりも大きな結果に直面するだろう」とロシア大統領は述べた。「あなたが私を聞いてくれることを願っています。」

バイデン政権はこれらの脅威を真剣に受け止めています。クレムリンがウクライナへのNATO補給任務を遂行していないのと同じように、ホワイトハウスは飛行禁止区域やその他の種類の直接的な軍事介入をきっぱりと拒否しました。

「私たちはウクライナでロシアとの戦争を戦うつもりはない」とバイデンは3月11日に言った。「NATOとロシアの間の直接の紛争は第三次世界大戦であり、私たちが防止するために努力しなければならないものです。」

これは、より広範な戦争のリスクがゼロであることを意味するものではありません。事故が起こり、国々は指導者の最善の判断に反して戦争に巻き込まれる可能性があります。政治的立場とリスクの計算も変わる可能性があります。ロシアがひどく負け始め、ウクライナ軍（「戦術」核兵器と呼ばれる）に小さな核兵器を使用する場合、バイデンはかなり積極的な方法で対応する必要性を感じるでしょう。ワシントンとモスクワが一定レベルの抑制を示し続けていることに大きく依存している。

9) 戦争はどのように終結することができますか？

戦争は通常、一方または他方の完全な敗北で終わらない。より一般的には、停戦またはより恒久的な平和条約のいずれかであるある種の交渉による和解があり、両者は一連の相互に合意した条件の下での戦いをやめることに同意します。

ウクライナの紛争は例外であることが判明する可能性があります。ロシアの士気が完全に崩壊し、戦場での完全な敗北につながるか、ロシアが非常に多くの苦痛を与えてキーウが崩壊する可能性があります。しかし、ほとんどのアナリストは、これまでの戦争のやり方を考えると、これらのどちらも特に可能性が低いと考えています。

「彼らがどれだけの軍事火力を注ぎ込んだとしても、（ロシア人は）政権交代や彼らの最大の目的のいくつかを達成することはできないだろう」とCNAシンクタンクのコフマンは宣言する。

交渉による和解は、紛争を終わらせる最も可能性の高い方法です。双方の間で和平交渉が進行中であり、いくつかの報告は彼らが実を結んでいることを示唆している。3月28日、Financial Timesは、ウクライナのNATO加盟からウクライナの「非ナチ化」に至るまでの問題をカバーする合意案の大幅な進展を報告しました。翌日、ロシアは、交渉へのコミットメントのしるしとして、ウクライナ北部での武力行使を減らすことを約束した。

しかし、アメリカの当局者は、会談におけるロシアの深刻さに公然と懐疑的でした。モスクワが和解に達することを約束したとしても、悪魔は常にこの種のことで詳細にあります—そして成功する解決の妨げになっている多くの障壁があります。

ATOを取る。ロシア人は、ウクライナが「中立」であり続けるという単純な誓約を望んでいます。Financial Timesによると、現在の合意案はウクライナのNATO加盟を排除していますが、ウクライナがEUに加盟することを許可しています。また、米国と中国を含む少なくとも11か国が、再び攻撃された場合にウクライナの援助に来ることを約束します。これにより、ウクライナは戦前よりもはるかに強力な安全保障の基盤に置かれることとなります。キーウの勝利とモスクワの敗北は、プーチンが最終的に結論付ける可能性があります。

正確には、「中立」ウクライナとは何ですか？

もう1つの厄介な問題、おそらく最も厄介な問題は、クリミア半島と、ウクライナ東部にあるロシアが支援する2つの離脱共和国の状況です。ロシア人は、クリミアの併合とドネツクとルハンシク地域の独立をウクライナが認めることを望んでいます。ウクライナは、その領土の一部として3つすべてを主張しています。ここではある程度の妥協が考えられます—おそらく各地域で国際的に監視されている国民投票—しかし、それがどのように見えるかは明らかではありません。

これらの問題の解決は、戦争の進行にかなり依存する可能性があります。双方が戦場での地位を向上させ、交渉でレバレッジを獲得するための適切なチャンスがあると信じるほど、どちらかが戦闘を終わらせるという名目で他方に譲歩しなければならない理由は少なくなります。

そして、彼らがどういうわけか合意に達したとしても、それは保持することにならないかもしれません。

ウクライナ側では、ウルトラナショナリストの民兵は、ロシアの侵略を防ぐことを目的とした戦前の交渉中に脅迫したため、ロシアとの合意を弱体化させる可能性があります。

ロシア側では、合意はプーチンの言葉と同じくらい良いだけです。国際平和維持軍のように、将来の侵略のコストを引き上げるために設計された厳格な規定が含まれていても、それは彼が協定を破ることを妨げることはないかもしれません。

結局のところ、この侵略は、彼が長期的にロシアを傷つけることになると思われる侵略を開始することから始まりました。プーチンは世界をこの混乱に引きずり込んだ。いつ、どのようにそれから抜け出すかは、彼の決定に大きく依存します。

ウクライナにはチャンスがあります。

武道の賢者カール・フォン・クラウゼヴィッツは、戦場のリズムをやや神秘的な言葉で説明し、軍の成功が政治的成功にどのように関係し、それをもたらすのに役立つかを示しています。彼が提唱する中心的な考えは「最高点」であり、戦争の運命が一方または両方の戦闘員にとって、時には劇的な方法で変化し始める点です。一方の拮抗薬の相対的な強さは、もう一方の拮抗薬が底を打ち、リバウンドし始める間に最高になる可能

性があります。あるいは、かつては強い競争相手が今では弱いクロスオーバーポイントに到達する可能性があります。

まず、「勝利の限界点」があります。クラウゼヴィッツは、攻撃者が驚き、イニシアチブ、最初の影響点を選択する特権などのおかげで、軍事バランスの最初の優位性を蓄積すると仮定しています。しかし同時に、クラウゼヴィッツは戦術的防衛が最も強力な戦争形態であると信じています。そういうわけで、彼は攻撃者の軍事的優位性が頂点に達し、時間とともに減少し始めるだろうと予言しています。しかし、政治的優位性（勝利者となる可能性のある交渉力）が頂点を超えて衰退し始めるため、攻撃者が防衛側に意志を押し付ける能力も衰退し始めます。

それをクラウゼヴィッツのパラドックスと呼んでください。攻撃者は通常、攻撃の限界点（軍事的優位性の最大マージン）を超えて攻撃を押し付け、必要なものを奪う必要があります。しかし、攻撃が進むにつれて、それはますます弱い立場にあります。戦争の成果を引き出すのに十分な時間、戦場での優位性を維持するには、見事な将軍が必要です。

政治的に言えば、ロシアはすでに最高潮に達した可能性があります。ウラジーミル・プーチン大統領が切望する稲妻の勝利を獲得できなかったことは、ロシアの武力に対する評判を汚した。将来のモスクワの脅威を恐れたり、信頼できない同盟国のように見えるものからの支援を求めたりする外国の指導者は少なくなるでしょう。評判は権力政治のすべてであり、ロシアはそのブランドを傷つけました。

さらに、その挑発的な暴行を通じて、ロシアは至る所にある小さな主権国家の敵として、そして1945年にサンフランシスコで実施された国連主導の世界秩序の価値のないスチュワードとして明らかにされました。最近何か。ロシアの武器は、ブルートフォースによってウクライナでまだ勝っている可能性があります。しかし、ロシアの政治的立場は苦しんでおり、永続的な政治的利益はとらえどころのないものになっています。

防衛側は、攻撃者の運命が最高潮に達したときにも投票を獲得します。ロシアは、キャンペーンの非常に早い段階で、ornery home teamの支援を受けて、勝利の限界点を超えた可能性があります。その名誉のために、ウクライナ軍はロシアの戦いと戦うことを拒否しました。ウクライナの司令官は、すべてを失う可能性のある従来のつま先からつま先までの交戦の危険を冒すのではなく、不規則な戦争に頼ってきました。戦闘が長引くほど、国際的な騒動は激しくなり、潜在的には、帰国したロシア人への間の戦争への抵抗が大きくなる。

何らかの形の妥協の平和が最終的に生じるかもしれません。

防衛側の同盟国とパートナーは、攻撃者が勝利の限界点を超えて移動するのを助けることもできます。国際的な制裁は、時間の経過とともに侵略者のウォーマキング資材の在庫を劣化させる可能性があります。防衛側を武装させるために兵器で走ることは、特にウクライナ軍の場合は対タンク兵器は、より直接的な方法で力のバランスをとることさえ助けます。ロシアの武力優位のマージンは部分的に衰退し、それによってモスクワはかなり短い順序で説得力のある勝利を勝ち取ることができます。同盟の管理は、ウクライナの見通しにとって非常に重要です。

クラウゼヴィッツの2番目のタイプの最高点は「攻撃の最高点」です。攻撃者が勝利の限界点を超えて急上昇し、行き過ぎた場合、その優位性のマージンは日ごとに減少します。最終的にはゼロに狭まります。攻撃者は、おそらく敵対的な領域の奥深くにいる、より弱い競技者に気付くでしょう。戦場での優位性から交渉力が流れると、かつての攻撃者は有利な平和を奪う能力を失います。

さて、戦闘員間の巨大な資源格差に照らして、ロシアが攻撃の最高点を超えるかどうかは疑わしい。しか

し、それは不可能ではありません。ジョージワシントンの大陸軍は、アメリカ独立戦争の初期にそのような不一致に直面しましたが、それでも、巧妙な同盟政治と相まって不規則なアプローチは、アメリカの入植者が長い闘争の後に勝つことを可能にしました。毛沢東の赤軍は、中国の民族主義軍が中国共産党をほぼ絶滅の危機に瀕させた長征から戻ってきました。ウクライナに対するオッズは禁じられていますが、生き残る可能性はあります。

したがって、公式があります。大衆軍ではなく分散し、侵略者に迅速な戦略的勝利を拒否し、結果に影響を与えることができる同盟国や友人に法廷を開きます。戦闘の衰退と流れのダイナミクスは、ストラテジストのエドワード・ルトワックが戦争の「逆説的な」論理と呼んでいるものです。司令官が部隊を過剰に拡張する傾向があるため、キャンペーンはその最高点を超えて一掃されます。踏み越えは、運命の「皮肉な」逆転をもたらす可能性があります。勝利者は打ち負かされる可能性があります-または少なくともその政治的目的を達成できません。

ロシア・ウクライナ戦争のコメンテーターは、ロシアの武器のスポーツをしたり、ロシアのジャガーノートに対するウクライナの生存の可能性を絶望したりするのに迅速でした。クラウゼヴィッツ、ワシントン、マオは、紛争に関するそのような時期尚早で歴史的な評決をあざけるでしょう。おそらく、今後数週間は両方の交戦者の浮き沈みを目撃するでしょう。

それが終わるまで、それは終わっていません。

3月25日、ロシア国防省は、ウクライナ侵攻の「第一段階」が終了したと発表しました。ほんの一ヶ月前、ウラジーミル・プーチン大統領は、ウクライナの軍事力を完全に破壊し、ウクライナ政府に取って代わることを誓った。彼は、証拠なしに、ドンバスで「大量虐殺」を行うことを計画しているネオナチの軍事政権であると主張した。

そのために、2月24日、ロシア軍と空挺部隊はキーウに稲妻攻撃を試み、同時にハリコフ、スムイ、チェルニヒウ、ヘルソン、メリトポリ、マリウポリ、およびドンバス地域の連絡線に対して攻撃を開始しました。予想外に悪質な高強度の戦闘の翌月、ロシア軍は、最初の日に倒れたヘルソンとメリトポリの小さな南部の都市を除いて、すべての都市を占領することができませんでした。その見返りに、ロシア軍は非常に大きな損失を被りました。7,000人から15,000人の人員が死亡し、2,000台以上の車両が破壊または捕獲されたことが視覚的に確認されました。

ロシア政府による新しい発表は、これらの失敗への直接の対応です。少なくとも今のところ、ロシアがウクライナを力づくで支配に戻すことはできないということは認められている。レジームチェンジ（ロシアによると「非ナチ化」）の代わりに、新しい主張は、ロシアの目標は、ドンバスで領土を奪い、ウクライナ軍を破壊することに焦点を絞ることであるということです。

これはプーチン大統領の政権にとって深刻な危機です。ウクライナに対する「特別軍事作戦」を正当化するために、彼はウクライナでのネオナチズムと大量虐殺の極端なレトリックと根拠のない主張を何ヶ月も使用してきました。侵略が始まって以来、普通のロシア人は、「Z」をテーマにした戦争前のプロパガンダ、愛国的なスピーチ、愛国的な熱狂をかき立てるために設計された集会の弾幕を提示されてきました。

ロシアの指導者たちがまだウクライナをすぐに打ち負かすと思っていた最初の数日間、ロシアの国営メディアは、プーチン大統領の侵略が世界秩序を再形成し、「ウクライナの問題」と米国主導の単極の両方に終止符を打ったと発表した。NATOは世界を支配しました。おそらくさらに重要なのは、ロシアの軍事力と歴史-従来型と核の両方-が国民のアイデンティティと国民の誇りの基礎であり、ロシア人は長い間、ウクライナとウク

ライナ人を文化的および政治的に見下してきた。これらすべてが、ロシア政府が国民に説明することを非常に困難にしている。

ロシア政府が国民のために注意深く作成した情報環境の中で、強力なロシア軍がはるかに弱いウクライナ軍を破壊できなかったのはなぜでしょうか。エリート部隊によって短期間で行われると思われるハイテクの「特殊軍事作戦」が、何万人もの死者、負傷者、捕虜となったロシア軍と、2,000台以上の破壊されたロシア車両をどのようにしてもたらしたのでしょうか。陰気な敵対的な西側勢力によって課された不人気なネオナチの軍事政権によって抑圧されていると思われるウクライナの人々が、ロシアの「解放者」に対して激しい怒りとほぼ完全な国民統一で戦っているのはどうしてですか？何よりも、ロシア政府、おそらく核の超大国、そして1945年のナチスドイツに対する勝利の自称相続人はどうすればよいのでしょうか。—おそらく「ジェノサイド」、「ネオナチ」ウクライナ政府を権力の座に置く停戦協定を結ぶか？現実から完全に離婚した侵略の物語の正当化を作成することにより、ロシア政府は、戦争のほとんどすべての可能な結果を自国民に正当化することが非常に困難になる状況を作り出しました。

しかし、現在の設備と人員の損失率は持続可能ではなく、いずれにせよ、東部を除いてほとんど意味のない進歩を遂げていないため、ロシアはすぐに停戦を必要としています。実際、先週、ウクライナは南西部のムィコラーイウとヘルソン周辺、キエフの西にあるイルピンとマカリブ周辺、キエフの東にあるトロスティアネッツ周辺の重要な領土を奪還しました。日が経つにつれ、進行中の停戦交渉におけるウクライナの手は弱くなるのではなく強くなる。

この文脈において、ドンバスに焦点を当てる戦争の新しい段階のロシアの発表には2つの目的があります。第一に、それは実際的な軍事戦略を表しています。ドンバスは、ロシア軍が主要な軍事的成功を達成する可能性が最も高いウクライナの一部です。彼らは、ドネツ川沿いのウクライナの要塞線を破壊するのに十分な軍隊を集中させようとしており、先週、イジューム周辺で重要な地位を獲得しました。停戦交渉での交渉の立場を改善する具体的な結果を達成する可能性が最も高い場合、過度に拡大した部隊を優先することは理にかなっていません。第二に、これは、ロシア政府が国民に与えた戦争の完全に非現実的な見方によって生み出された期待を和らげる努力の始まりです。

それにもかかわらず、ロシア政府の一部は、これらの減少した野心と彼らが暗示する現実を受け入れるのが難しいと感じているようです。3月27日、「プーチンのマウスピース」として知られる宣伝家、ドミトリー・キセリョフはロシアのテレビで、「ロシアは決してウクライナを誰にも譲り渡さない...ウクライナ自身の意志に反してさえ、ロシアの一部でなければならない」と述べた。さらに、ロシアは西部のリヴィウを含むウクライナ全土でミサイル攻撃を続けており、ウクライナの強力な反撃により、キーウ、ハリコフ、スミー、ヘルソン周辺の軍隊を解放することは困難であると感じています。したがって、侵略の新たな段階が発表されたが、ロシアが述べられたようにドンバスに首尾よく集中できるかどうかはまだ分からない。